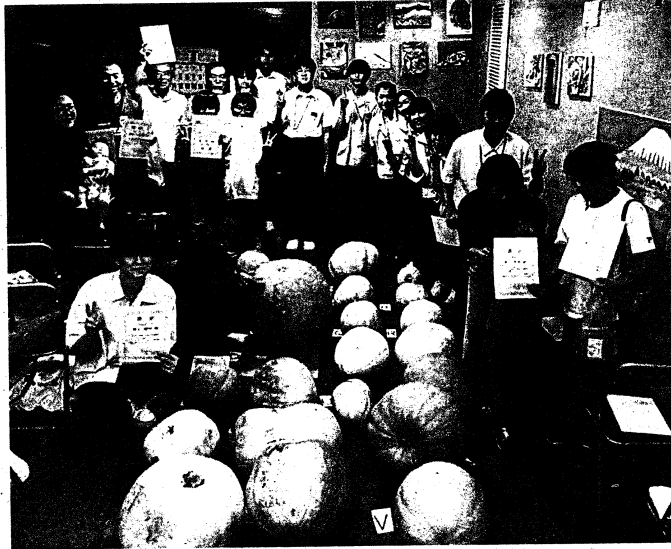


大橋さん(一般)が2連覇達成

富士宮 高校生 ジャンボカボチャコンテスト表彰式



ずらりと並んだジャンボカボチャ

富士宮高校会議所主催の「ジャンボカボチャコンテスト」の表彰式がこのほど、富士宮市西町の西町レトロ館で開かれた。耕作放棄地等でマスマス元肥(げんぴ)を使って栽培したカボチャの重量等を競うコンテストで、1番のジャンボカボチャを育てた大橋美佐子さん(一般部門)が連覇と1、2位独占を達成した。

同会議所では、ニシマスの残渣(ざんさ)と朝霧牛の糞(ふん)で作ったSDGs実践たい肥「マスマス元肥」を使い、耕作放棄地の有効活用を図り地産地消や安心安全な野菜、果樹、草花栽培を推進

し、新たな農産物の創出による持続可能な社会づくりを目指している。成分は通常のたい肥に比べアミノ酸が多く含まれ、野菜や花果树に有効とされる。今回は、「マスマス元肥を使って耕作放棄地をよみがえらせよう!! プロジェクト第3弾」としての取り組み。富士宮市内在住の11個人・団体からずっしりとした重量級カボチャ22点が出展された。1番のジャンボカボチャは一般部の大橋さんが育てたもので、重量は41・90キ。2位も大橋さんだった。入賞者には賞状とニシマスふりかけ、マスマス元肥が贈られた。

2連覇を成し遂げた大橋さんは「夢の10

0キ超を目指して来年も優勝したい」と喜びを語った。

上位入賞者は次の皆様(同4年、24・65キ)も優勝したい」と喜びを語った。

同会議所の清彩華さんは「ハロウィンで楽しむほか、ジャンボカボチャを素材にクッキーやパンなどの食品づくりにチャレンジしたい」と話した。

上位入賞者は次の皆様(同4年、24・65キ)

◇未就学部門
① 實石勝利(4・10キ)

◇小学生部門
① 森方浩雅(富士根南小2年、27・55キ)
② 篠原琉士(上野小6年、26・50キ) ③ 篠原

◇中学生部門
① 篠原璃音(上野中2年、11・00キ)

◇一般部門
① 大橋美佐子(41・90キ) ② 同(28・15キ) ③ 吉田隆行(27・55キ)